

施工説明書

表示灯

品番 NYL908CX

屋外型

品番 NYL908DX

表示灯(フラット型)

品番 NYL907CX

屋外型

品番 NYL907DX

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには消防設備士(甲種第4類)の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、施工説明書をお渡しください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合は責任を負い兼ねることがあります。
- 火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

付 属 品

- 防水パッキン(NYL908DX・NYL907DXのみ付属)・・・1コ
- 施工説明書(本紙)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1枚

安全上のご注意

■必ずお守りください

警告



必ず守る

- 受信機の電源(AC 100 V)を切り、電池を取りはずした状態で施工する。
活線工事は感電・故障の原因となります。

施工上のご注意

- 商品の分解・改造は絶対しないでください。故障の原因となります。

- 電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。

〔電線をよじっただけでは、長期間使用中に電線表面が酸化不良をおこし、接触不良の原因となります。〕

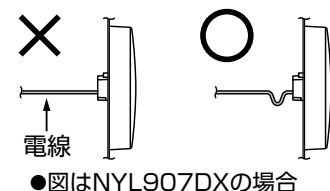
圧着スリーブ処理



- 配線方法に示す機器以外の機器に接続する場合は、当社にご相談ください。
不適切な接続は誤動作・故障の原因となります。

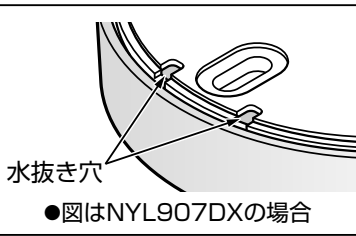
- 水が電線をつたわって端子部に浸入しにくいように処理してください。

- NYL908DX・NYL907DXの場合は、防水パッキンを取り付けた状態で結線してください。



●図はNYL907DXの場合

- NYL908DX・NYL907DXの施工時、雨水がかかり易い場所に設置する場合や取付壁面に凹凸がある場合は、表示灯本体と壁面などの間にコーキングをしてください。
この場合下側には水抜き穴がありますので、下側のコーキングはしないでください。



●図はNYL907DXの場合

- 体育館などでボールが表示灯に当たるおそれがある場合は、プロテクタ(オプション)を取り付けてください。
- 次のような場所には設置しないでください。(誤動作や故障の原因となります。)

NYL908CX・NYL907CXの場合

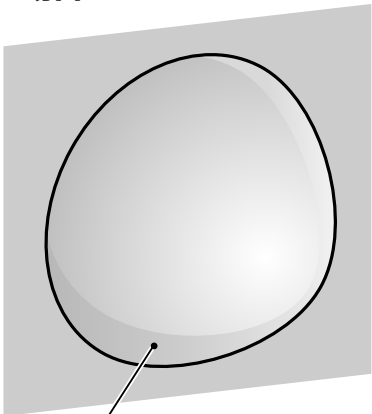
- 水滴、蒸気、ホコリなどがかかる場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- 衝撃、振動などの影響を受ける場所

NYL908DX・NYL907DXの場合

- 蒸気、ホコリなどがかかる場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- 衝撃、振動などの影響を受ける場所
- 汚水や海水のかかる場所

各部のなまえとはたらき

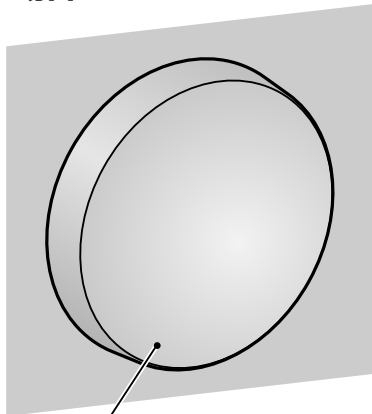
■NYL908CX・NYL908DXの場合



発光面

- 受信機からの電源供給を受けると、赤色に発光します。

■NYL907CX・NYL907DXの場合



発光面

- 受信機からの電源供給を受けると、赤色に発光します。

施工後の確認方法

- 受信機の電源を入れて、表示灯の発光面が点灯していることを確認してください。

定格・仕様

	NYL908CX	NYL908DX	NYL907CX	NYL907DX
消費電流	9 mA(DC/AC 24 V時)			
使用周囲温度	-10℃～+50℃			
質 量	約66 g	約68 g	約66 g	約68 g

点検について

●日常点検について

注意



必ず守る

- 日常、次の点検を行う。
 - ・発光面が消えていないか？
 - ・カバーの割れ、亀裂はないか？緊急時の操作に支障をきたしたり、不動作、誤動作の原因となります。

●異常時の点検・処置について

警告



必ず守る

- この商品に異常があるときは点検・処置をする。
異常を放置すると表示灯が発光しないために発信機の取付位置がわからず、避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。

状 態	点 検	処 置
発光面が発光しない。	自動火災報知設備専用ブレーカーが「切(OFF)」側になっていないか？	専用ブレーカーを「入(ON)」側にする。
	受信機内の交流電源スイッチが「切(OFF)」側になっていないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入(ON)」側にする。
	受信機の電源(AC 100 V)配線が断線していないか？	配線を直す。
	表示灯と受信機間の配線が断線していないか？	
	受信機のヒューズが切れていないか？	

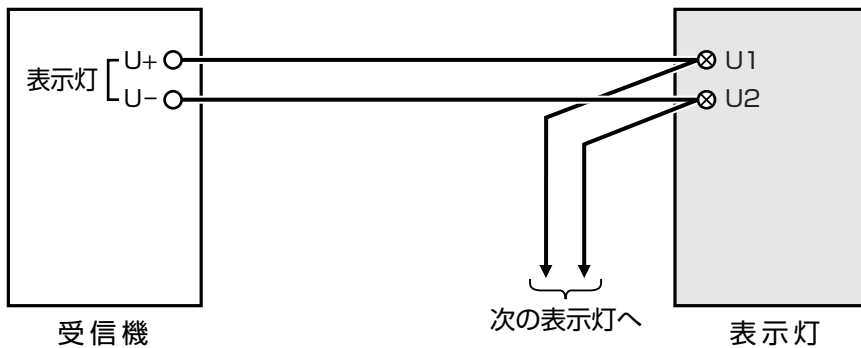
配線方法



- 端子ネジは、確実に締め付けてください。故障の原因となります。
- NYL908DX・NYL907DXの場合は、防水パッキンを取り付けた状態で結線してください。
- ⊗端子はネジ端子、○端子は速結端子を示します。

使用電線

0.5 mm²～1.25 mm²
φ0.65 mm～φ1.2 mm



取付方法



NYL908DX・NYL907DXの施工時、雨水がかかり易い場所に設置する場合や取付壁面に凹凸がある場合は、表示灯本体と壁面などの間にコーキングをしてください。この場合下側には水抜き穴がありますので、下側のコーキングはしないでください。

●図はNYL907DXを中型四角アウトレットボックス丸穴カバーに取り付ける場合

1 取付位置を決める。



発信機本体の近くに取り付けてください。(消防法施行規則 第24条)

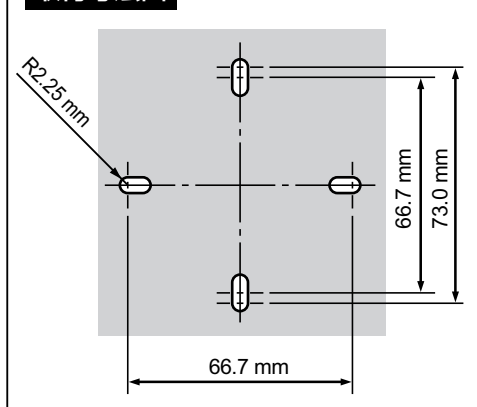
2 入線をする。

3 ボックスを取り付ける。

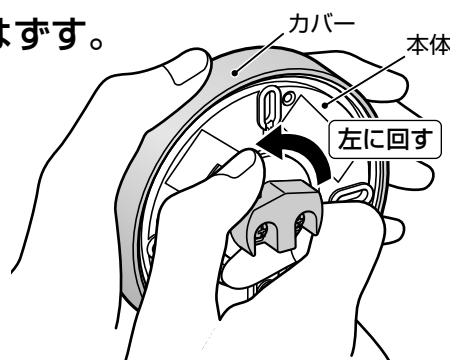
■適合ボックス

ボックス	取付ピッチ
中型四角アウトレットボックス丸穴カバー	66.7 mm
丸形露出ボックス	73.0 mm

取付寸法図



4 本体とカバーをはずす。



5 防水パッキンを本体に取り付ける。 (NYL908DX・NYL907DXのみ)



NYL908CX・NYL907CXには、防水パッキンは付属されていません。

防水パッキン

壁面側に光沢面がくるように取り付けてください。

水抜き穴

本体

6 本体の配線をする。

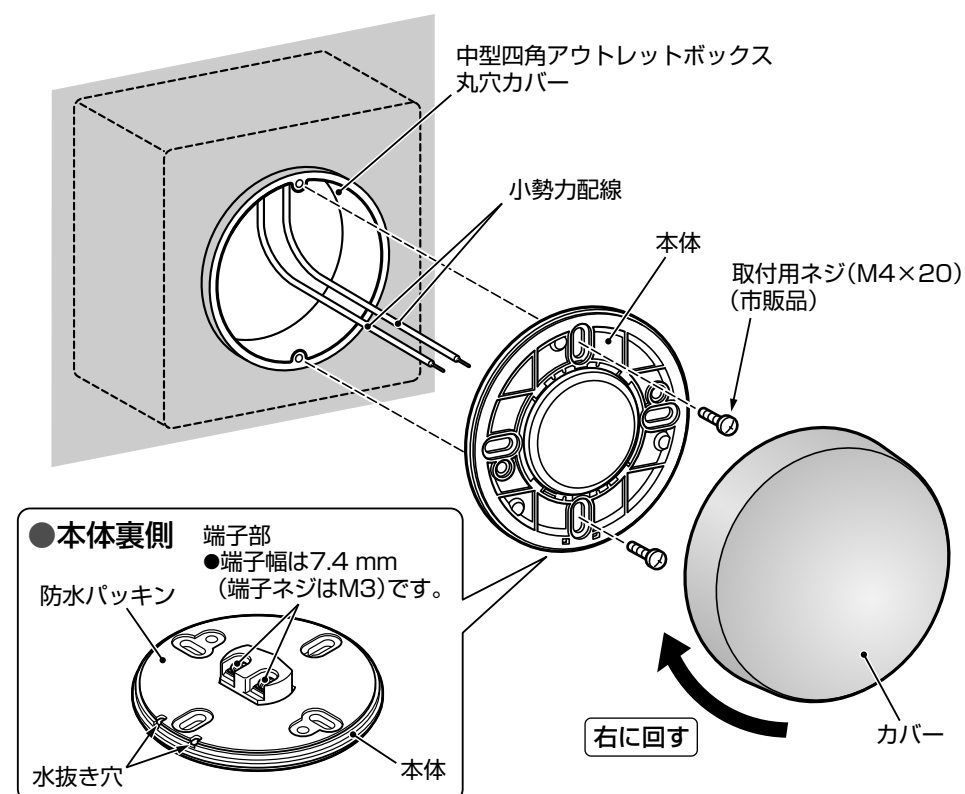
※「配線方法」(表面)参照。

7 本体をボックスに取り付ける。



本体の水抜き穴が下になるように取り付けてください。

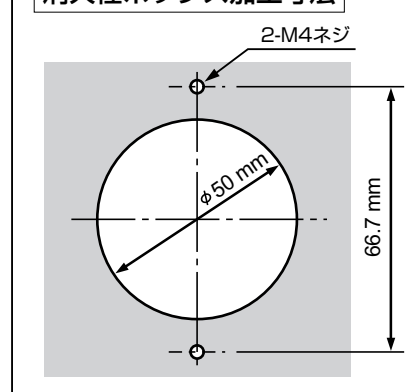
8 カバーを本体に固定する。



■消火栓ボックスに取り付ける場合

●消火栓ボックスに右記寸法の穴をあけて、市販の取付用ネジ(M4)で取り付けてください。
取付方法は左記の手順 4 5 6 8 を行ってください。

消火栓ボックス加工寸法

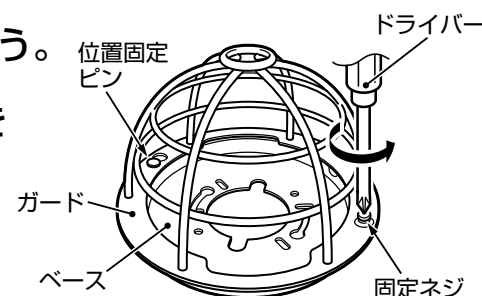


■プロテクタ(BV9581)の取付方法

●パナソニック(株)製 プロテクタ(BV9581)(オプション)を使用してください。

1 左記の手順 1 ~ 5 を行う。

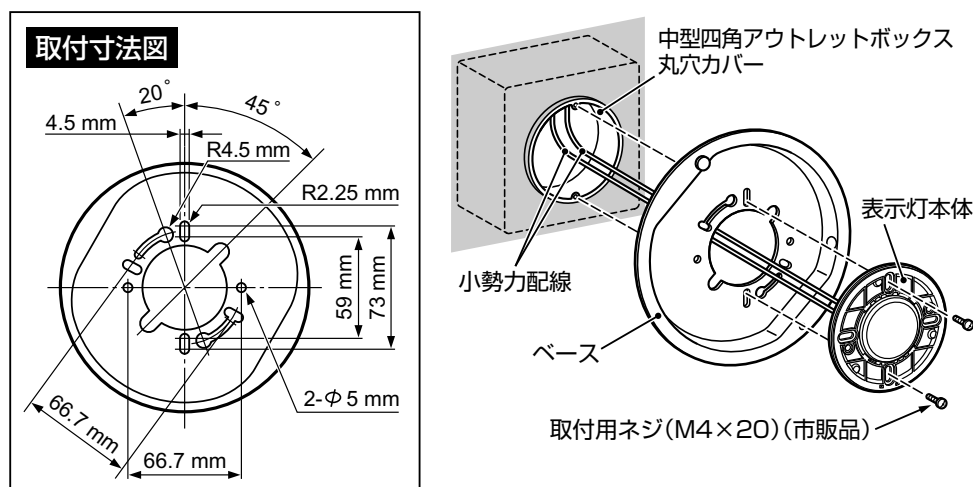
2 プロテクタの固定ネジをゆるめ、ガードとベースを分離する。



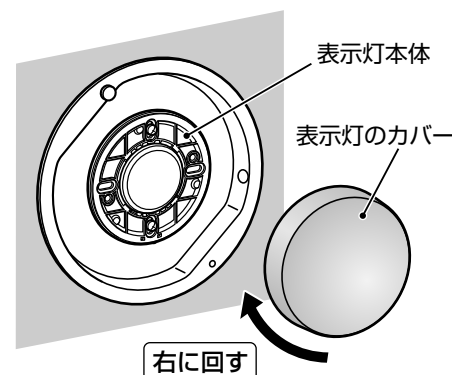
3 プロテクタのベースの穴に小勢力配線を通し、表示灯本体の配線をする。

※「配線方法」(表面)参照。

4 表示灯本体とプロテクタのベースをボックスに取り付ける。



5 表示灯のカバーを表示灯本体に取り付ける。



6 プロテクタのガードをベースに取り付ける。

- 1 位置固定ピンをダルマ穴へ挿入する。
- 2 ガードを右に回す。

